



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東
コード番号 6627 URL <https://www.teraprobe.com/>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 横山 毅
問合せ先責任者 (役職名) 執行役CF0 (氏名) 中川 雅幸 (TEL) 045-476-5711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	9,249	3.4	1,753	3.3	1,675	△2.3	712	△22.7
2024年12月期第1四半期	8,949	8.5	1,697	0.4	1,714	1.1	921	△19.0

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △882百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 2,385百万円(9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	78.31	—
2024年12月期第1四半期	101.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	71,543	52,040	50.2
2024年12月期	75,357	53,924	49.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 35,943百万円 2024年12月期 37,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期第2四半期(2025年1月1日～2025年6月30日)及び

2025年12月期第3四半期(2025年1月1日～2025年9月30日)の連結業績予想

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,550	△1.7	3,500	△7.9	3,250	△16.6	1,220	△32.9	134.11
第3四半期(累計)	28,250	0.5	5,320	△3.0	4,970	△7.8	1,760	△31.6	193.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年3月31日現在での発行済株式数(自己株式を除く)を使用しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	9,282,500株	2024年12月期	9,282,500株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	185,449株	2024年12月期	185,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	9,097,051株	2024年12月期 1 Q	9,097,116株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、四半期決算補足説明資料をウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは、車載向けロジック製品の在庫調整により受託量が減少したものの、サーバー向け製品及びAI関連製品の受託量が増加したため、売上高は前四半期から回復し、9,249百万円（前期第4四半期比2.8%増）となりました。

売上高の増加に伴い、営業利益は1,753百万円（前期第4四半期比19.7%増）、経常利益は1,675百万円（前期第4四半期比3.7%増）となり、いずれも前四半期を上回る結果となりました。一方で、前期第4四半期に計上した法人税見直し等の影響がなくなったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前四半期と比較して減少し、712百万円（前期第4四半期比23.9%減）となりました。

なお、当第1四半期において、法人税等326百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益702百万円を計上しております。

前年同期との比較においても、上記の理由により、売上高は3.4%、営業利益は3.3%増加となりました。しかしながら、為替差損の計上により経常利益は2.3%減少し、加えて、前年同期に計上していた固定資産売却益の影響がなくなったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は22.7%減少しました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高の製品別内訳は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	メモリ製品	ロジック製品	合計
当第1四半期連結累計期間	582	8,667	9,249
（参考）前期第1四半期連結累計期間	727	8,222	8,949
（参考）前期第4四半期連結会計期間	744	8,253	8,998

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は71,543百万円となり、前連結会計年度末比3,814百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が2,069百万円、有形固定資産が1,535百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は19,502百万円となり、前連結会計年度末比1,931百万円の減少となりました。これは主に、未払金が1,653百万円減少したことによるものです。

純資産は52,040百万円となり、前連結会計年度末比1,883百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を712百万円計上したものの剰余金の配当1,000百万円を実施したこと等により利益剰余金が288百万円、為替換算調整勘定が1,171百万円、非支配株主持分が423百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期第2四半期につきましては、サーバー向け製品及びAI関連製品の堅調な需要が継続するほか、一部車載向けロジック製品の受託量増加を見込んでおります。一方で、為替は引き続き円高基調（対新台幣ドル）で推移すると見込んでいることから、売上高は当期第1四半期と同水準になる見通しです。これに伴い、営業利益も当期第1四半期から横ばいとなる見込みですが、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、為替差損の計上により減少すると予想しております。

これらの結果、当社グループの当期第2四半期連結累計期間における売上高は18,550百万円、営業利益は3,500百万円、経常利益は3,250百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,220百万円と予想しております。

2025年12月期第3四半期においては、上記の受託量増加が引き続き寄与することから、売上高は当期第2四半期と比較して増加する見通しです。また、新規設備投資に伴い減価償却費が増加するものの、それを上回る売上高の拡大により、営業利益は微増し、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても増加すると予想しております。なお、今後の世界情勢の変化に伴う需要動向については注視してまいります。

以上の結果、当社グループの当期第3四半期連結累計期間における売上高は28,250百万円、営業利益は5,320百万円、経常利益は4,970百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,760百万円と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,690,038	9,620,086
売掛金及び契約資産	10,807,755	10,511,209
原材料及び貯蔵品	513,445	493,909
未収入金	554,673	806,672
リース債権	1,117,045	988,707
その他	376,030	345,873
流動資産合計	25,058,988	22,766,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,476,923	12,685,090
機械装置及び運搬具（純額）	31,802,378	31,635,580
その他（純額）	5,624,862	4,047,700
有形固定資産合計	49,904,164	48,368,371
無形固定資産	222,805	219,705
投資その他の資産	171,418	188,629
固定資産合計	50,298,387	48,776,706
資産合計	75,357,376	71,543,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	433,163	316,449
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,310,000	1,814,434
リース債務	654	290,774
未払金	2,116,542	463,177
未払法人税等	867,933	1,100,387
契約負債	6,229	4,552
賞与引当金	1,237,429	1,437,362
役員賞与引当金	45,023	11,755
受注損失引当金	1,526	815
修繕引当金	5,021	9,876
その他	1,854,245	1,612,857
流動負債合計	7,877,771	7,362,442
固定負債		
契約負債	15,259	14,469
長期借入金	12,459,561	10,519,227
リース債務	981	522,150
退職給付に係る負債	226,155	223,903
資産除去債務	10,736	10,757
繰延税金負債	814,845	818,833
修繕引当金	9,616	12,006
その他	18,398	18,381
固定負債合計	13,555,553	12,139,731
負債合計	21,433,324	19,502,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	7,611,322	7,611,322
利益剰余金	14,446,135	14,157,891
自己株式	△120,520	△120,520
株主資本合計	33,760,250	33,472,005
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,631,714	2,459,933
退職給付に係る調整累計額	11,223	11,874
その他の包括利益累計額合計	3,642,938	2,471,807
非支配株主持分	16,520,862	16,097,176
純資産合計	53,924,051	52,040,989
負債純資産合計	75,357,376	71,543,164

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	8,949,365	9,249,627
売上原価	6,611,111	6,848,125
売上総利益	2,338,254	2,401,501
販売費及び一般管理費	641,168	647,576
営業利益	1,697,085	1,753,924
営業外収益		
受取利息	1,007	3,238
受取手数料	46,405	46,125
その他	63,515	6,801
営業外収益合計	110,928	56,165
営業外費用		
支払利息	40,758	44,011
休止固定資産減価償却費	23,385	28,767
損害賠償金	22,000	—
為替差損	—	60,210
その他	7,623	1,997
営業外費用合計	93,766	134,986
経常利益	1,714,246	1,675,102
特別利益		
固定資産売却益	205,273	67,585
地方自治体助成金	82,627	—
特別利益合計	287,900	67,585
特別損失		
固定資産除却損	—	1,400
特別損失合計	—	1,400
税金等調整前四半期純利益	2,002,147	1,741,287
法人税等	376,862	326,712
四半期純利益	1,625,284	1,414,574
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	921,510	712,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	703,774	702,143
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	759,588	△2,297,610
退職給付に係る調整額	898	650
その他の包括利益合計	760,486	△2,296,960
四半期包括利益	2,385,771	△882,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,309,798	△458,700
非支配株主に係る四半期包括利益	1,075,972	△423,685

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	3,373,852千円	3,227,691千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。